

天然発酵抽出液ベースの葉面散布肥料
品質向上、収量増加、健全生育で
農家の収入増加につなげたい!

バイオスティミュラント

オルガミン CaB[®]

農林水産省登録番号: 輸第 107624 号



オルガミン CaB とは

オルガミン CaB は新鮮な魚丸ごとと、糖蜜を主原料として、熱処理や化学処理を行わずに天然発酵によって製造された天然アミノ酸葉面散布肥料です。

オルガミン CaB には、植物が必要とする約 18 種類のアミノ酸(アルギニン・ヒスチジン・リシン・プロリン・グリシン・グルタミン酸等)と酵素、核酸、カルシウム、ほう素が含まれています。

これらのアミノ酸群は、成長の過程で必要とされる酵素の材料となり、根や茎、葉、果実の生育改善や、耐暑性、耐寒性、耐霜性といった非生物的ストレスに対する植物の生理機能を改善させる働きもあります。

保証成分量 (%)

・水溶性ほう素1.0

使用されている効果発現促進材 (%)

・塩化カルシウムをカルシウムとして製品重量あたり 7.0%

その他の含有成分

●アミノ酸 ●糖類 ●有機酸 ●酵素



ご利用方法



インタビュー

輸入・販売元: 株式会社パルサー・インターナショナル

〒193-0825 東京都八王子市城山手 1-31-1

TEL: 042-666-1662 FAX: 042-662-5557

URL: <http://www.pulsar.co.jp>

特長

- ・熱処理や化学処理をしていない天然の形のアミノ酸なので植物への吸収が速く、速やかに効果が現れます。
- ・弊社のアミノ酸肥料は1970年代から続くロングセラー製品であり、世界各国でご愛用頂いています。
- ・移動しづらいカルシウムを、ほう素との相乗効果で効率よく葉面から補給することができます。
- ・各種石灰欠乏（尻腐れ、芯止まり、チップバーン、ビターピット等）の軽減が期待できます。
- ・裂果予防、また過熟果や日持ち性改善が期待できます。
- ・N.P.Kをほとんど含有していないので、ステージを問わずにご使用いただけます。

使い方

- ・使用前によく振ってください。
- ・有効期限はありませんが、希釈し、薄めた液は、全量使い切ってください。
- ・葉面散布：500～1000倍で希釈して、葉面に散布してください。
- ・土壌灌水：2000～3000倍で希釈して、土壌への灌水に使用してください。
- ・散布間隔：1～2週間に1度を目安に、カルシウムが欠乏しやすい時期に使用してください。
- ・症状が発生する前に予防目的でご使用下さい。

作物別使用例

作物	時期・散布回数	効果
ぶどう	落花期～果実肥大期 2～3回	日持ち向上、脱粒軽減
桃・すもも	落花後～収穫前 3～4回	過熟果予防、日持ち向上
りんご・なし	①落花後～収穫前 ②収穫前期 4～6回	ビターピット改善
おうとう	落花後～収穫前期 3～4回	過熟果予防、日持ち向上
柿	落花後～収穫前期 3～4回	日持ち向上、果肉のしまり向上
トマト・キュウリ ナス・ピーマン	①育苗期 1～2回 ②収穫期 随時	尻腐れ予防、変形果予防、芯止まり、しおれ予防
いちご	随時	チップバーン、果実軟化予防、日持ち向上
メロン・スイカ	果実肥大期～収穫前期 随時	過熟果予防、日持ち向上、裂果予防
かぼちゃ	随時	日持ち向上、実止まり向上
葉物類	①育苗期 1～2回 ②定植～収穫前期 3～4回	芯腐れ予防、しおれ軽減、日持ち向上
豆類	落花後～収穫期 2～3回	収量改善、ロス果の軽減
ねぎ	生育期間全般 4～5回	収量改善、葉先枯れ改善、秀品率の改善
イモ類	肥大期 2～3回	収量改善、秀品率の改善、ロス化の軽減
水稻	出穂初期～収穫1ヶ月前 2～3回	収量改善
花き	随時	葉先枯れ改善

使用上の注意

- ほとんどの農薬と混用可能ですが、石灰硫黄合剤との混用は避けてください。
- 原液の場合の使用期限はございませんが、希釈した液は1週間以内に使い切ってください。
- 使用後は元の容器に密閉し、直射日光を避け、冷涼な場所に保管してください。